



# こすずめ通信

2021年1月号

医療法人社団 協友会 介護老人保健施設  
ハートケア横浜小雀

〒244-0004 神奈川県横浜市戸塚区小雀町 2248-1

<http://www.hc-kosuzume.jp/>

TEL 045-852-8611 (代)

FAX 045-852-8617

## 謹んで初春のお慶びを申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルスという未知の感染症との闘いに、多くの制約をしなければならぬ年となってしまいました。本年もまた、自由にご家族やご友人と祝うことのできない、これまでとは違う年明けを迎えられた方々も多いと思います。

令和3年は、3年に一度の介護報酬が見直される年です。医療、介護は2025年地域包括ケアシステム構築に向け、より在宅サービスの強化が求められています。当施設でも昨年より介護老人保健施設としては「在宅復帰超強化型」という基準を満たしました。今後は『地域の介護を支える大規模多機能施設』として、介護が必要になる前の介護予防への取り組み、そして介護が必要になった際は在宅サービス（居宅ケアマネ、通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ）と、入所サービスを組合せた支援に取り組んで参りたいと存じます。

また、当施設は今年開設20周年という節目の年となります。これまで、ご指導戴き支えて下さいました、利用者様、ご家族、地域の皆様、そして職員に感謝を申し上げます。まだまだ至らない点は多々ございますが、地域の皆様に安心して、気軽に訪れ、利用いただける施設になって参りたいと存じます。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。

# こすずめ展覧会開催いたしました。



今年は面会同様、フロアへ入って頂く事が出来ない関係上、正面玄関、事務所周辺にて展示を行いました。



今回の展示は 10月30日～11月30日迄と1ヶ月間展示を行いました。ご利用者の皆様も色々な作品を見て頂く事が出来、楽しんで頂く事が出来ました。今後も継続しクラブ等で作成した作品はケース内に展示を行う予定です。施設へお越しの際は、是非、ご覧ください。  
(詳しくは、“こすずめ展覧会ご報告”をご覧ください)



## 地域支援



新しい年の始まりです。昨年はコロナ禍の為、地域のお祭り、運動会等が中止となりました。今年も何処まで地域のイベントが再開されるかわかりませんが、自宅にこもりがちになってしまった方等に声をかけ、一緒に活動が再開出来たらと思っています。感染予防をしつつ活動の場を広げていけたらと思っています。

### ボランティアさん募集中



地域支援よりお知らせです。

昨年は、1階食堂より見える中庭花壇をキレイに草むしりを行いパンジーとチューリップを植えました。春には、何色のチューリップが咲くか楽しみです。今年も色々な花を植えたいと思っています。一緒に植えて下さる方募集中です。

# ★☆☆小雀クリスマス会を開催しました★☆☆三



12月19日(土)、少し早めですがクリスマス会を各フロアにて行いました。今回のメインイベントは、ピニャータ!!ご存じですか??メキシコ版のくす玉みたいなもので、棒でくす玉を叩き、割れたらプレゼントがもらえるというもの。各フロアで工夫された大きな玉を利用者様に順番に叩いてもらいましたが、意外に割れず苦戦…🦋

そのおかげで?全員が叩くことができ、割れた後、一人一人に写真たてや靴下やポーチなどをプレゼントさせていただきました!

そしておやつの中にはブッシュドノエル風のケーキを食べていただき、イベントは終了。職員・利用者様共に楽しい時間を過ごすことができました。

▼1F



▼2F



▼3F



大好評だったブッシュドノエル風ケーキ▼



今年度も利用者様が楽しめるようなイベントをたくさん行っていきたいと思います!!

12月行事委員

## 通所リハビリテーション便り

昨年は新型コロナウイルスという大厄災の年でしたが、ご利用者様並びにご家族様のご理解とご協力のおかげで運営を続ける事ができました。また、コロナ禍でも支えて下さるご家族様がいらっしゃるからこそご利用を続けられているのだと思い感謝申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルスの脅威は続いており、これからの時期はインフルエンザやノロウイルスも流行期に入って参ります。引き続き感染予防と感染拡大に注意した運営に努めて参りたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

本年も皆様と笑顔で過ごせることを  
楽しみにお待ちしております。

コロナに負けるな



## スタッフ紹介

今回は 支援相談員とリハビリテーション科からご紹介させていただきます。

●いつもお世話になっております。支援相談員の『澤端 晟斗』です。

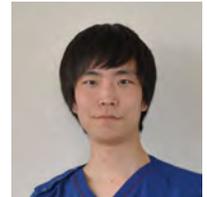
自然豊かで温暖な気候に恵まれた「静岡」から横浜の小雀に移り住み、早4年が経とうとしておりますが、関東の厳しい寒さには未だ慣れずにいます。

私が生まれた静岡市では雪が全く降らず、2001年を最後に積雪の記録がないほどです。学生時代はあまり積極的に体を動かすほうではなかったのですが、横浜の寒さに負けまいと今では体を動かさない日のほうが少ないといえるまでになりました。まだまだ慣れないことも多いですが皆様のご相談に真摯に向き合っていきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願致します。



●リハビリ専門職の、作業療法士という資格でお仕事をさせていただいている『斉藤 たけお』です。(他に、理学療法士と言語聴覚士という資格があります。)当施設に異動してもうすぐ2年で、作業療法士になって10年が経ちました。

10年経っても、利用者様・そのご家族様・周りのスタッフから刺激を受けて、成長させていただいていると感じています。特に若いスタッフが頑張り屋さんです。利用者様やそのご家族様が望む暮らしを実現するために、そしてそれを実現しようと頑張っているスタッフの幸せのために、まだまだ精進してまいります。



## しあわせ介護 鎌田みのる

「長生きなんてしたくない」と思っている人が多い。本心は長生きしたいのに。長生きして介護されたくないからだ。家族に迷惑をかけたくないのだ。

介護を避けて通れないのに、介護を否定している。でも、介護を肯定してみると、見えてくるものがある。

介護は家族の関係を良くしてくれることだ。ある。

介護は社会を優しく変える可能性だ。ある。

介護は教育をいい方向に向けることだ。できる。

介護は人を成長させることもできる。

介護地獄から抜け出せる。

必ず。

あなたの考え方をちょっと変えればいい。

ほんのちょっとだけ。

しあわせ介護はきっとある。



鎌田みのる

諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)理事長、日本・イラク・メデイカルネットワーク(JIM-NET)代表、東京医科歯科大学臨床教授、東海大学医学部非常勤教授、岐阜経済大学客員教授  
著書『がんばらない』集英社 2000 他多数